

PRIMERGY



取扱説明書

フラットディスプレイ
(PG-R2DP2)


FUJITSU

この装置は、クラスA 情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

VCCI-A

本製品は、一般事務用、パーソナル用、家庭用、通常の産業用等の一般的用途を想定して設計・製造されているものであり、原子力施設における核反応制御、航空機自動飛行制御、航空交通管制、大量輸送システムにおける運行制御、生命維持のための医療用機器、兵器システムにおけるミサイル発射制御など、極めて高度な安全性が要求され、仮に当該安全性が確保されない場合、直接生命・身体に対する重大な危険性を伴う用途（以下「ハイセイフティ用途」という）に使用されるよう設計・製造されたものではありません。お客様は、当該ハイセイフティ用途に要する安全性を確保する措置を施すことなく、本製品を使用しないでください。ハイセイフティ用途に使用される場合は、弊社の担当営業までご相談ください。

Linux は、Linus Torvalds 氏の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Red Hat および Red Hat をベースとしたすべての商標とロゴは、米国およびその他の国における Red Hat, Inc. の商標または登録商標です。

その他の製品名等の固有名詞は、各社の登録商標または商標です

All Rights Reserved, Copyright © 富士通株式会社 2007

目次

はじめに	1
表記規則	1
安全上の注意	2
安全性	2
開封	4
梱包品の確認	4
フラットディスプレイの運搬	4
取り付け	6
フロントブラケットの取り付け	6
ガイドレールの取り付け	7
フラットディスプレイの取り付け	9
KVM スイッチの組み込み	10
ケーブルの接続と取り外し	12
ケーブルの接続	12
ケーブルの取り外し	12
電源ケーブル抜け防止タイラップ取り付け	13
PS/2 (USB) ケーブル接続	13
ポートの接続	14
操作	15
フラットディスプレイの操作	15
モニタの調整	18
基本的な調整方法	19
調整項目	20
解像度とリフレッシュレート	21
マウスとボタンの操作	22
マウスの収納方法	23
LED 表示および Reset スイッチ	24
Hot-Key スイッチの操作	24
キーボードの操作	24
KVM スイッチをご使用の場合について	24
KVM スイッチをご使用の場合について	25
フラットディスプレイの格納	25
トラブルシューティング	27
フラットディスプレイのお手入れ	29
リサイクルについて	30
設定時における LCD 表示の注意事項	31
技術仕様	32

はじめに

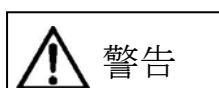
このたびは、PRIMERGY（プライマジー）用ラック搭載フラットディスプレイ（以降、本製品または本装置と呼びます）をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

本製品をお使いになると、オプティカルリフレクトマウス（以後、マウス）採用により、操作性が格段に向上し、17型TFTモニタ採用により、最大解像度1280×1024で、最大表示色1,677万色の表示が可能です。

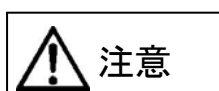
本書は、本製品の基本的なことからについて説明しています。ご使用になる前に、本書をよくお読みになり、正しい取り扱いをされますようお願いします。

表記規則

この説明書で使用している記号と文字の意味は次のとおりです。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡する可能性または重傷を負う可能性があることを示しています。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性があること、および物的損害（フラットディスプレイの損害など）のみが発生する可能性があることを示しています。

Point

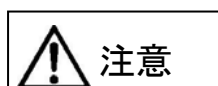
この記号のあとの文書は補足説明、注釈、ヒントです。

- 文頭に数字（①など）がある場合は、順序にしたがっておこなう必要がある操作を示しています。
- 参照する章のタイトルと用語を強調する場合は、カギ括弧（「」）で囲んでいます。

安全上の注意

この章には、フラットディスプレイで作業する際に注意しなければならない、安全性に関する情報を記載しています。よくお読みのうえ、正しくご使用ください。

安全性



本装置は、事務オフィス環境で使用する電子事務用機器などの情報処理装置に関する安全規格に準拠しています。ご不明な点があれば、担当営業員に連絡してください。

- 本装置を運搬する際は、衝撃や振動を避けるため、購入時の箱か同等の箱を使用してください。
- 本装置の取り付け中と使用前に、「技術仕様」の環境条件についての記事と「取り付け」の記事をよくお読みのうえ、正しくご使用ください。
- 本装置を寒冷な環境から設置場所に移動すると、結露を生じることがあります。装置が完全に乾燥し、設置場所とほぼ同じ温度になってから使用してください。
- 地域の路線電圧がこの装置の許容範囲であることを確認してください。定格電圧がこの装置にあうようにされていることを確認してください（「技術仕様」と本装置の型式銘板を参照してください）。
- 本装置の電源ケーブルは特別に認可されたものです。ラックの電源コンセント以外には接続しないでください。感電、短絡の原因になります。
- 本装置の電源ソケットまたはラックの電源コンセントの周辺は、プラグの抜き差しがすぐにできるようにしてください。
- 損傷しないようにすべてのケーブルを配置してください。ケーブルを接続したり取り外したりするときは、「取り付け」の該当部分を参照してください。
- 雷雨のときは、データケーブルを接続したり取り外したりしないでください。
- 本装置の内部に異物（ネックレスやクリップなど）や液体が入らないようにしてください。
- 緊急の場合（筐体、部品、またはケーブルの損傷、液体や異物の侵入など）は、ただちに本装置の電源ケーブルをはずして、担当販売員に連絡してください。
- 本装置を修理できるのは資格のある技術者だけです。資格のないユーザーが本装置を開き誤った修理をおこなうと、感電や火災などの原因になることがあります。

-
- フラットディスプレイは、スライドレールがロックされるまでゆっくりと確実に手前へ引き出してください。
 - フラットディスプレイを引き出した状態では、装置の角などに身体をぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。
 - フラットディスプレイを使用しない場合やフラットディスプレイ以外のサーバや周辺機器などを操作する場合には、フラットディスプレイをラック内に格納することを推奨します。
 - 体調の悪い状態でのキー打鍵や長時間の連続キー打鍵は避けてください。
 - ケーブルは強く引っ張らず、必ずコネクタ部を持って抜いてください。
 - 濡れた手での使用は避けてください。
 - 濡れた手でコネクタの抜き差しをしないでください。
 - 本装置の上には、コップなど不要な物をおかないでください。
 - 改造または修理をしないでください。
 - 警告マーク（稲妻マークなど）が付いている部品（電源装置など）の分解、取り外し、交換は、資格のある人以外はできません。
 - 「モニタの調節」で指定されている解像度とリフレッシュレートしか設定できません。それ以外の設定を行うと、モニタが損傷することがあります。ご不明な点は、担当販売員にご連絡ください。
 - 周辺機器用のデータケーブルは、干渉を防ぐために適切な絶縁処理が必要となります。
 - 線路電圧を切断するときには、専用ラックの電源コンセントから電源プラグを抜きます。
 - サーバを清掃するときは、「操作」の該当部分にしたがってください。
 - 本説明書は本装置とともに大切に保管してください。本装置を第三者に譲渡する場合は、本説明書も譲渡してください。
 - フラットディスプレイを引き出した状態で、脚立代わりに使用したり、よりかかったりすると、ラックが転倒する可能性があるので危険です。
 - 本製品には有寿命部品（LCDなど）が含まれており、長時間連続で使用した場合、早期の部品交換が必要になります。
 - 本製品を安定した状態でご使用になれる期間（耐用年数）は5年が目安です。
※1日8時間で月当たり200時間動作、使用環境が25℃を想定した場合の目安です。ただし、有寿命部品を除きます。

開封

梱包品の確認

次のものが、梱包されていることをお確かめください。

- フラットディスプレイ本体× 1
- ガイドレール× 2
- ガイドレール取り付けネジ× 10
- 電源ケーブル（2 m）× 1
- フロントブラケット× 2・フロントブラケット取り付けネジ× 4
- DCケーブル× 1・KVMスイッチ取り付けネジ× 4（本体に貼り付けられており、KVMスイッチを本体に組み込む場合に必要となりますので貼り付けたままにしてください。）
- 取扱説明書（本書）× 1
- 保証書× 1（保証書に必要な詳細がすべて記入されていることをお確かめください。）
- 電源ケーブル抜け防止タイラップ× 1
- PS/2ケーブル× 1
- USBケーブル× 1
- ハンドルバンド× 1（本体に取り付けられております。）
- 耐震ゴム× 1（本体に取り付けられております。）

購入時の梱包箱および梱包品を保管しておくことをおすすめします。別の場所に移動するときに必要になることがあります。万一、不備な点がございましたら、おそれいりますが、担当営業員までお申し付けください。

KVMスイッチ取り付けネジおよびDCケーブルはKVMスイッチを搭載する時に必要となりますので貼り付けしたままにしてください。

フラットディスプレイの運搬



フラットディスプレイを別の場所に運搬する際は、購入されたときに本装置が入っていた箱か、衝撃や振動から製品を保護できる箱を使用してください。運搬処理がすべて完了するまで、フラットディスプレイは開梱しないでください。



注意

「安全上の注意」の安全情報に注意してください。

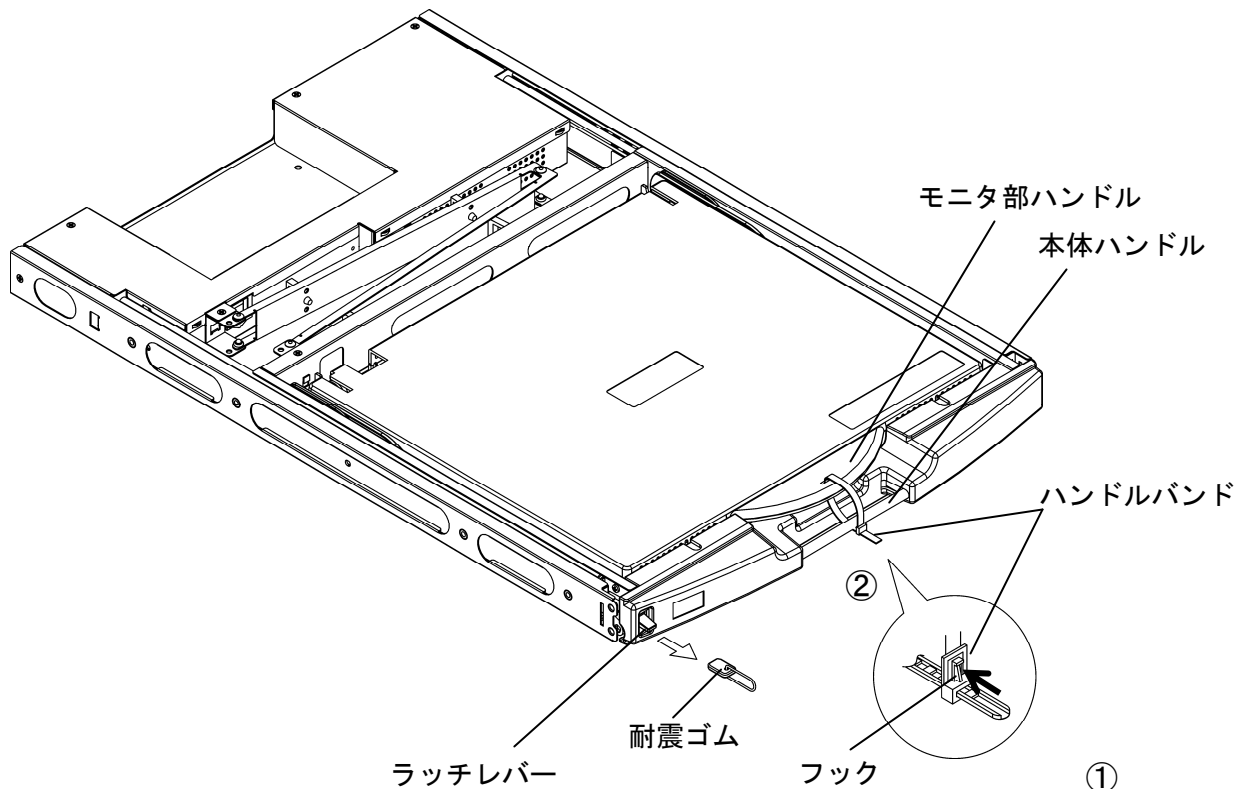
● 開梱時は本体に損傷がないか、配送品を確認してください。

①ハンドルバンドのフックをつまみ、ロックを解除して引き抜いてください。

②フラットディスプレイ前面左の耐震ゴムを引き抜いてください。

Point

- ・ ハンドルバンドは、ラックの移動中にフラットディスプレイのモニタ部が開閉しないように取り付けられています。フラットディスプレイをラックに取り付けた後も必要になることがありますので、必ず保管しておいてください。
- ・ ハンドルバンドは、ラックの移動の際には必ず取付けてください。
- ・ 耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動中にフラットディスプレイがスライドしないように差し込んであります。フラットディスプレイをラックに取り付けた後も必要になることがありますので、必ず保管しておいてください。
- ・ 耐震ゴムは、ラック取り付け時やラックの移動の際に必ず取付けてください。



ハンドルバンドおよび耐震ゴム引き抜き図

取り付け



注意

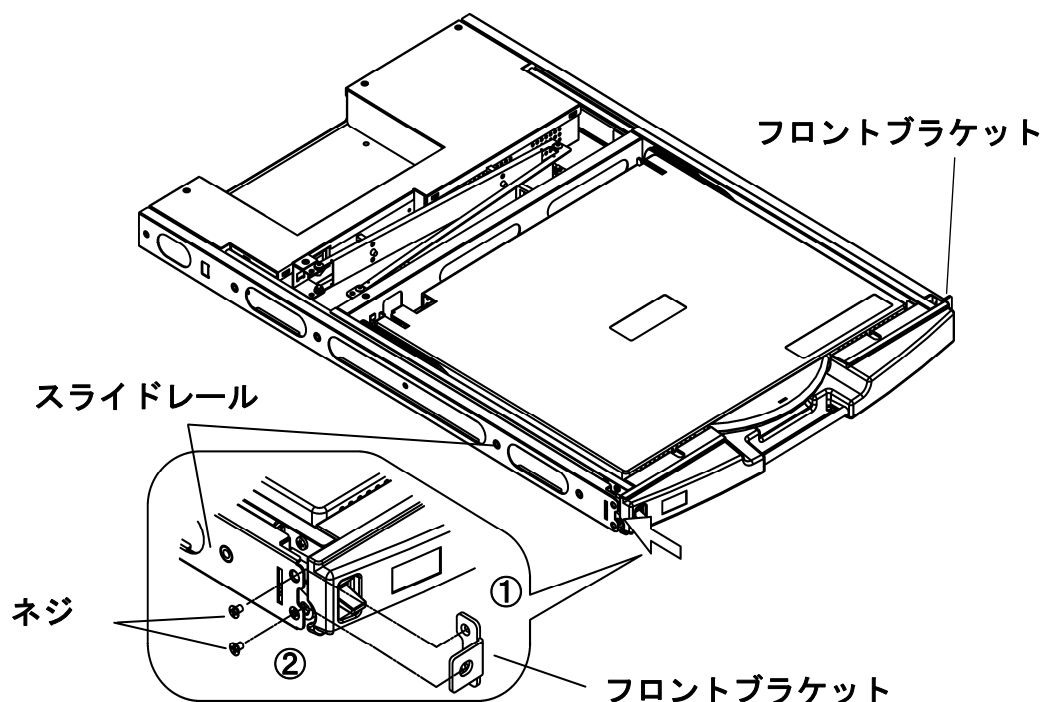
- ・ 「安全上の注意」の安全情報をよく読んでください。
- ・ フラットディスプレイは、設置環境を守ってご使用ください（「技術仕様」を参照してください）。ほこり、湿度、熱を避けてください。
- ・ 必要な場合は、取り付けを2人以上でおこなってください。
- ・ フラットディスプレイとガイドレールの間に、指や手を挟まないように注意してください。

Point

KVMスイッチをフラットディスプレイ本体に組み込む場合は、10ページの「KVMスイッチの組み込み」を参照して下さい。

フロントブラケットの取り付け

- ① 本装置の前部左右の本体とスライドレール間にフロントブラケットを入れます。
- ② スライドレールの外側から2個のネジでフロントブラケットを固定します。



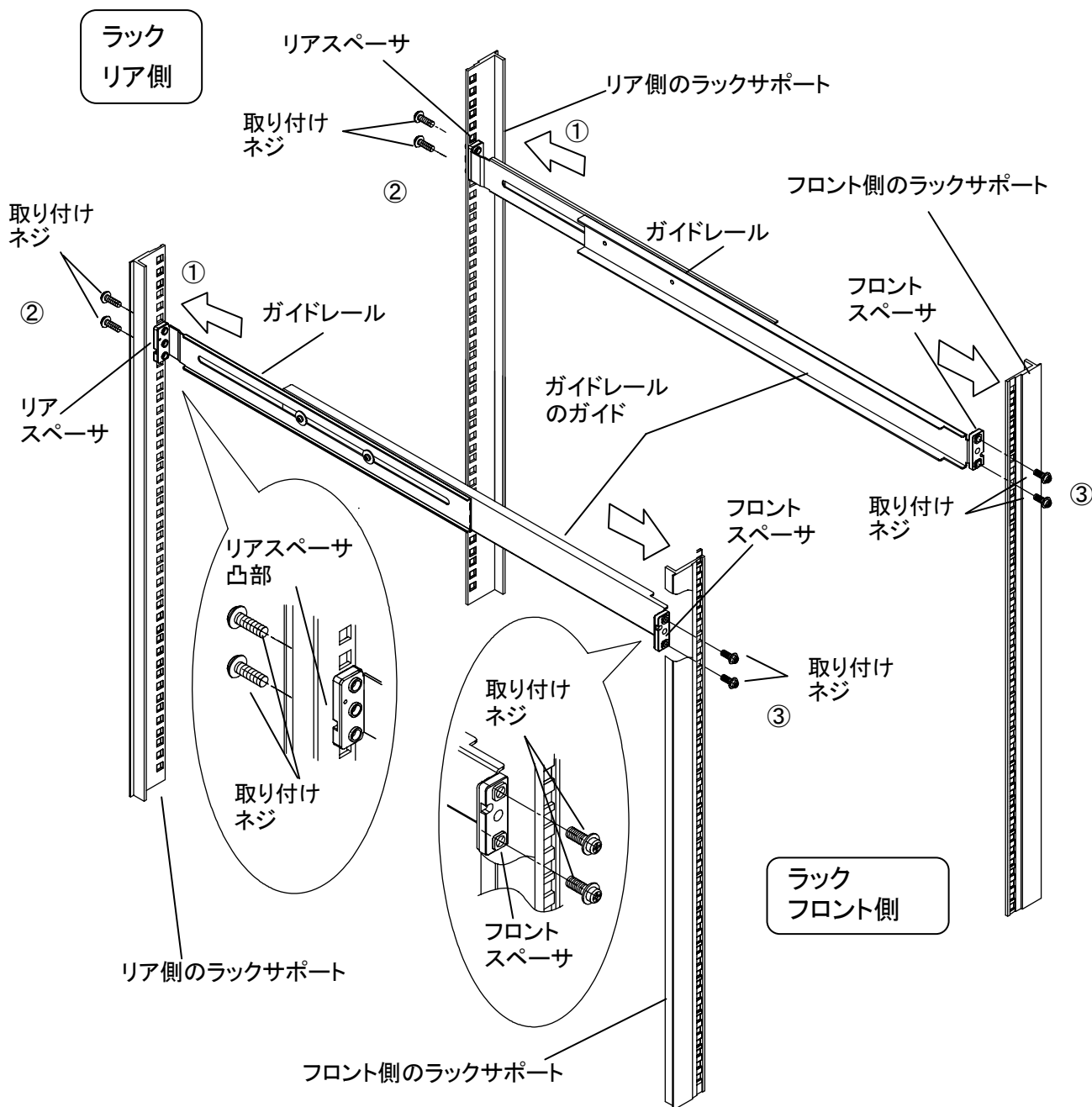
フロントブラケットの取り付け図

ガイドレールの取り付け

Point

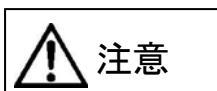
- ・ガイドレールは、本製品が載せられるように、ガイドを前方、中側を向くように取り付けます。
- ・ガイドレールは、ラックのサポート内側に取り付けてください。
- ・8ページの「ガイドレールの取り付け図」を参照してください。

-
- ① ガイドレールのリアスペーサ凸部をリア側のラックサポートの穴に入れます。
 - ② ラックサポート外側からリアスペーサ上下の穴を取り付けネジで固定します。
(左右ガイドレールの高さは同じにしてください。)
 - ③ フロント側のラックサポート内側にガイドレールを合わせて、上下の穴を取り付けネジで固定します。



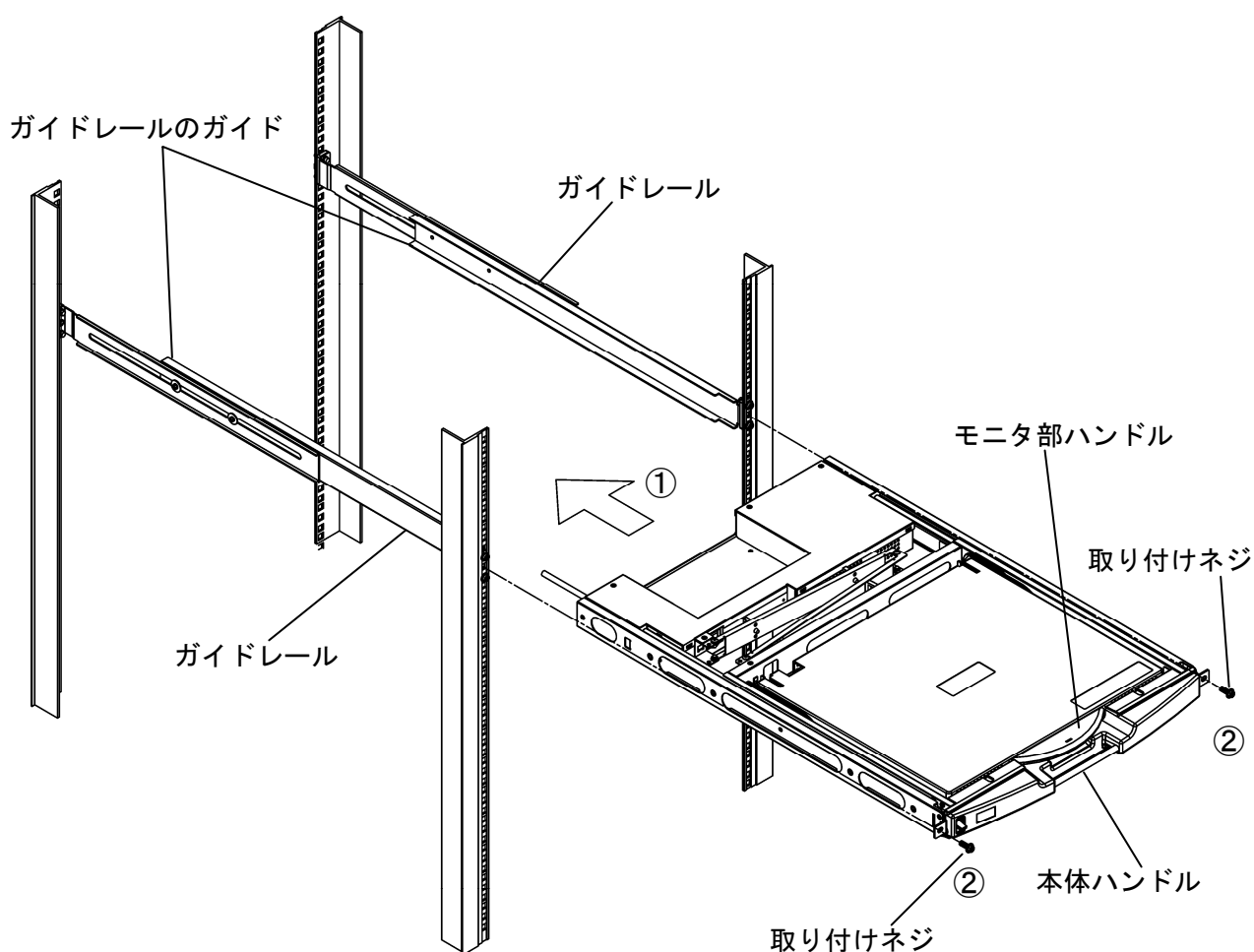
ガイドレールの取り付け図

フラットディスプレイの取り付け



- ・ ラッチレバー[16 ページ]が解除されないように注意してください。ラッチレバーが解除されているとフラットディスプレイがスライドするおそれがあります。
- ・ ガイドレールにフラットディスプレイが入らないときや重い場合は、2人以上で持って入れてください。
- ・ フラットディスプレイを持ち上げるときはモニター部ハンドルをもたないでください。モニター部だけが開き本体を落とすおそれがあります。

- ① ガイドレール前方からフラットディスプレイを入れます。
- ② フラットディスプレイは、止まるまで押し込み、前面2箇所を取り付けネジで固定します。



フラットディスプレイ取り付け図

KVM スイッチの組み込み

本装置に組み込み可能な KVM スイッチをお持ちでない場合は、12 ページ「ケーブルの接続と取り外し」からお読みください。

なお、組み込み可能な KVM スイッチについては、担当営業員にご確認ください。

KVM スイッチのコネクタ接続は、14 ページ「ポートの接続」を参照してください。



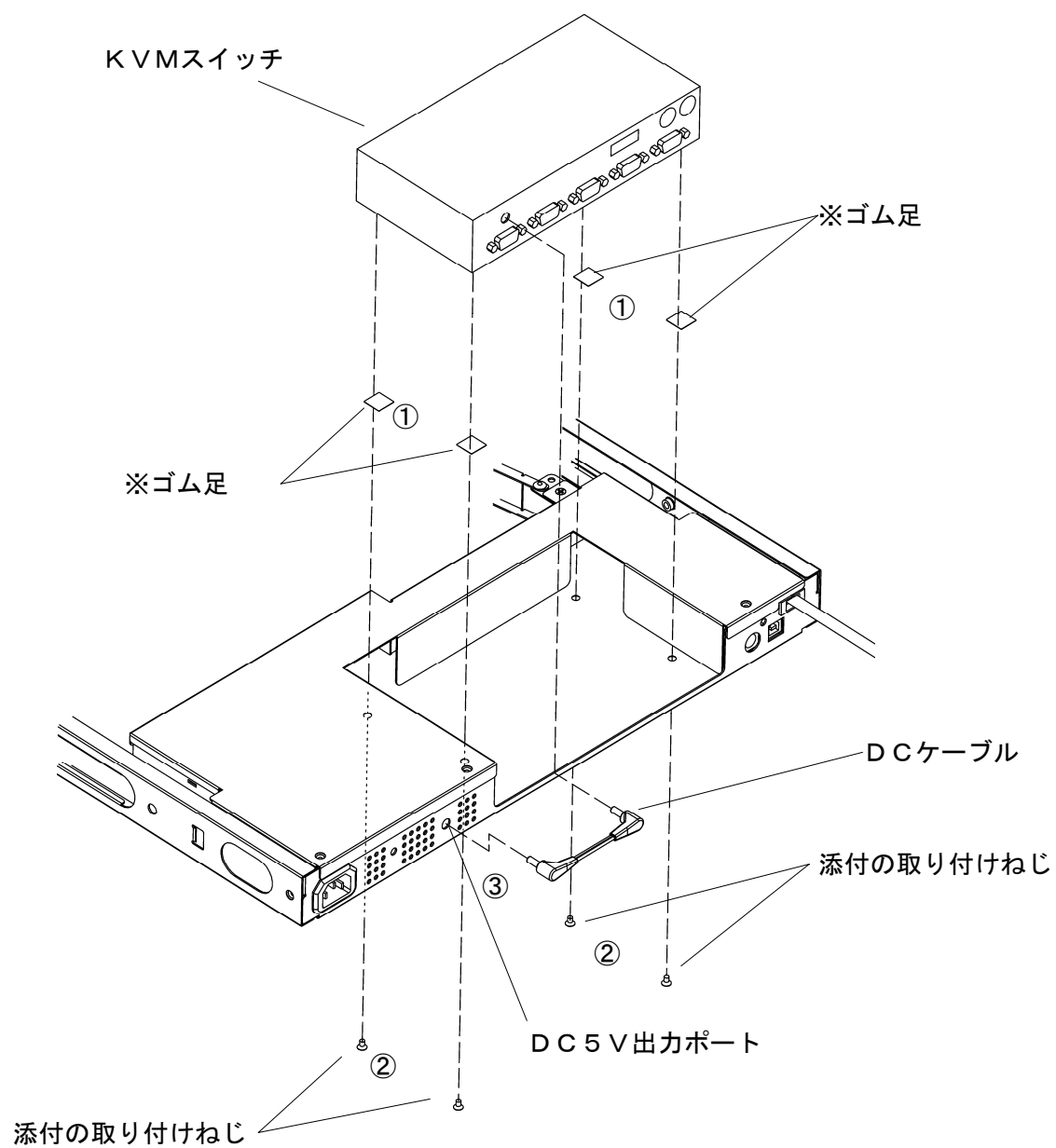
- ・感電やショートのおそれがあるので、本装置の電源ケーブルが電源コンセントに接続されていないことを確かめてください。
- ・落ちたり、倒れたりしてけがの原因になりますので、本装置はしっかりした机の上などで作業してください。
- ・本装置内部には、高電圧を発生、蓄積する部分があります。必ず、放電を確認した後、作業をおこなってください。
- ・金属製のエッジ(端部)部で手などを切らないように注意してください。
- ・破損の原因になりますので、内部に異物（金属片・水・液体など）が入らないように注意してください。また、必要のない場所には触らないでください。

KVM スイッチに PG-SB201 をご使用の場合の取り付け方法について説明します。
PG-SB201 以外の KVM スイッチを組み込む場合は KVM スイッチの取扱説明書をご確認ください。

Point

- ・本装置の下部に作業空間がある場合には、本装置を取り外す必要はありません。
- ・本装置の取り外し方は、9 ページ「フラットディスプレイの取り付け」の逆の順序でおこないます。

-
- ① リアトップパネルの空きスペースに貼り付けられている取り付けネジを取り外します。
リアトップパネルの空きスペースに KVM スイッチを向きに注意して格納します。
KVM スイッチの底面にゴム足が貼付されている場合は剥がしてから格納します。
 - ② フラットディスプレイの下側から 4 ヶ所を①で取り外した取り付けネジ 4 本で KVM スイッチを固定します。
 - ③ 本製品の後部の DC5V 出力ポートに、本装置（ドロア）に添付されている専用ケーブル (DC ケーブル) を接続ください。この場合、KVM スイッチに添付されている AC アダプタは不要となります。



※ゴム足が貼付されている場合は剥がす必要があります。

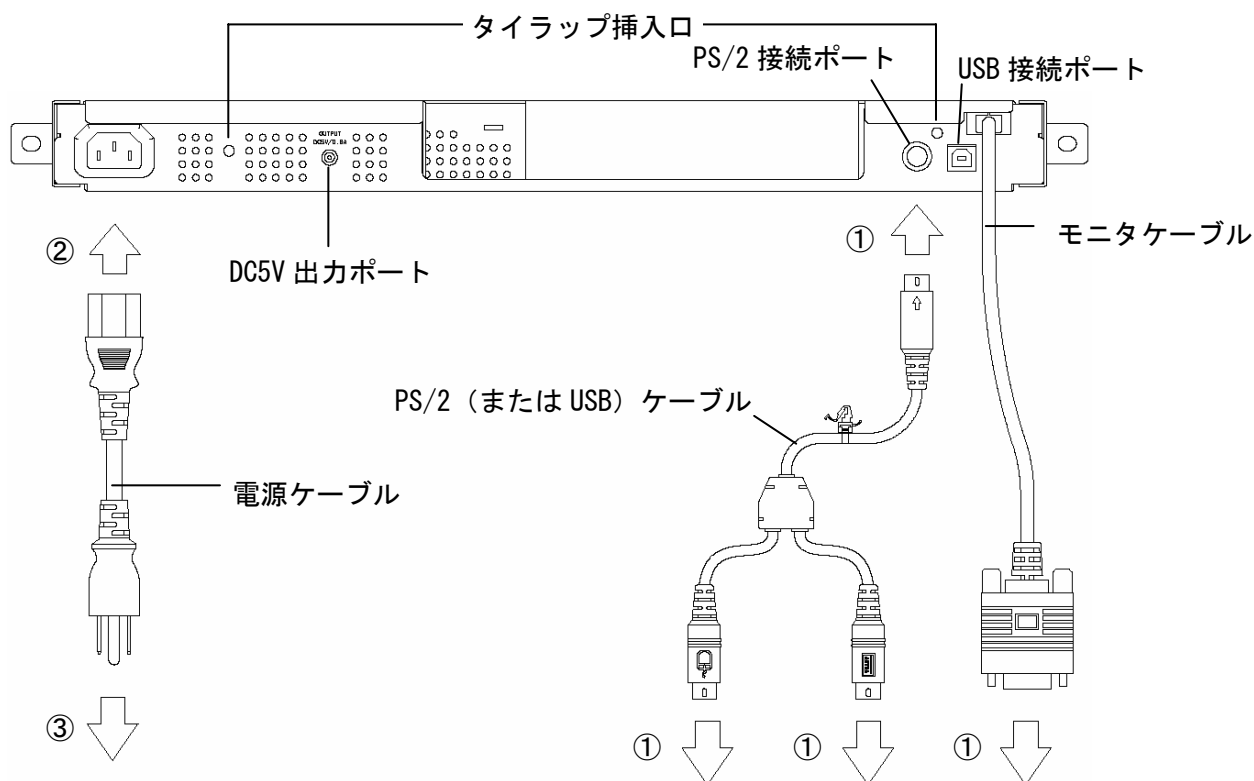
KVM スイッチ組み込み図

ケーブルの接続と取り外し

ケーブルの接続

● 影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜きます。

- ① PS/2 (または USB) ケーブル、モニターケーブルをそれぞれの装置に接続します。
- ② 電源ケーブルをフラットディスプレイの電源ソケットに差し込みます。
- ③ 電源ケーブルをラックの電源コンセントに差し込みます。



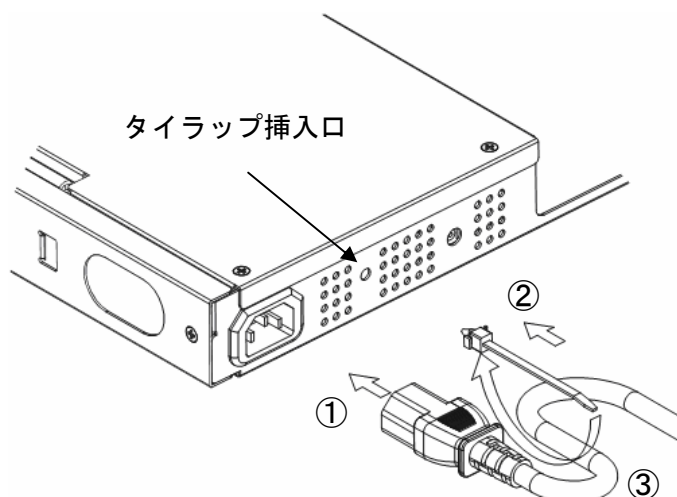
ケーブルの取り外し

影響を受ける装置すべての電源プラグを電源コンセントから抜いてから、各ケーブルを取り外してください。USB ケーブルの場合は、サーバが動作している状態でケーブルの取り外しが可能です。

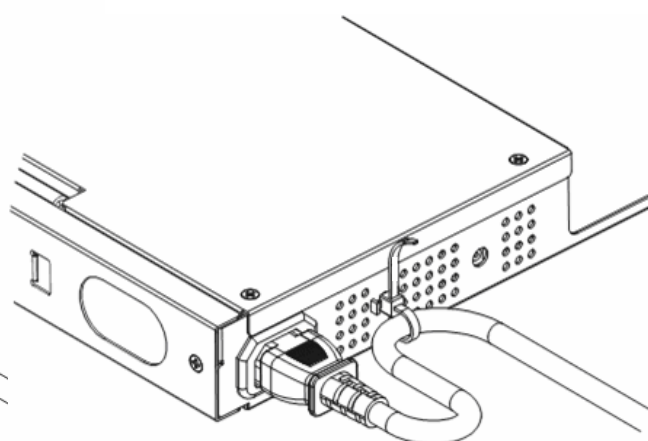
電源ケーブル抜け防止タイラップ取り付け

- ①電源ケーブルのコネクタを電源ソケットに差し込みます。
- ②タイラップをリア板金のタイラップ挿入口に差し込みます。
- ③電源ケーブルをひと巻きし、タイラップを締め込みます。

- 電源ケーブルを取り外す際は、タイラップのフックをつまみ、ロックを解除して引き抜いてください。

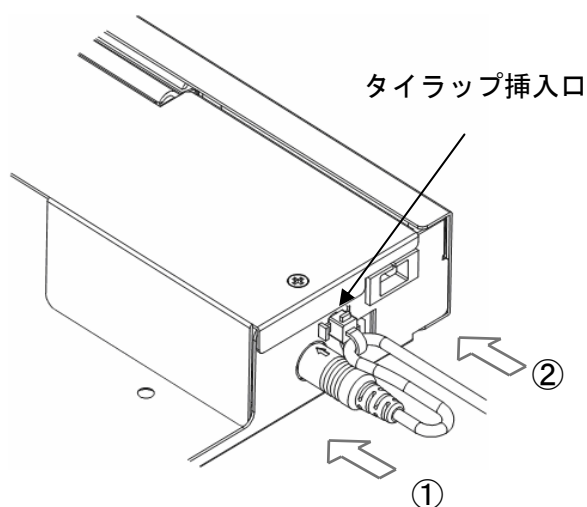


タイラップ取り付け手順図



PS/2(USB)ケーブル接続

- ①PS/2 (USB) コネクタをソケットに差し込みます。
- ②タイラップをリア板金のタイラップ挿入口に差し込みます。



- PS/2 (USB) ケーブルを取り外す際は、タイラップのフックをつまみ、ロックを解除して引き抜いてください。

ポートの接続 (フラットディスプレイ後面に KVM スイッチがある場合)

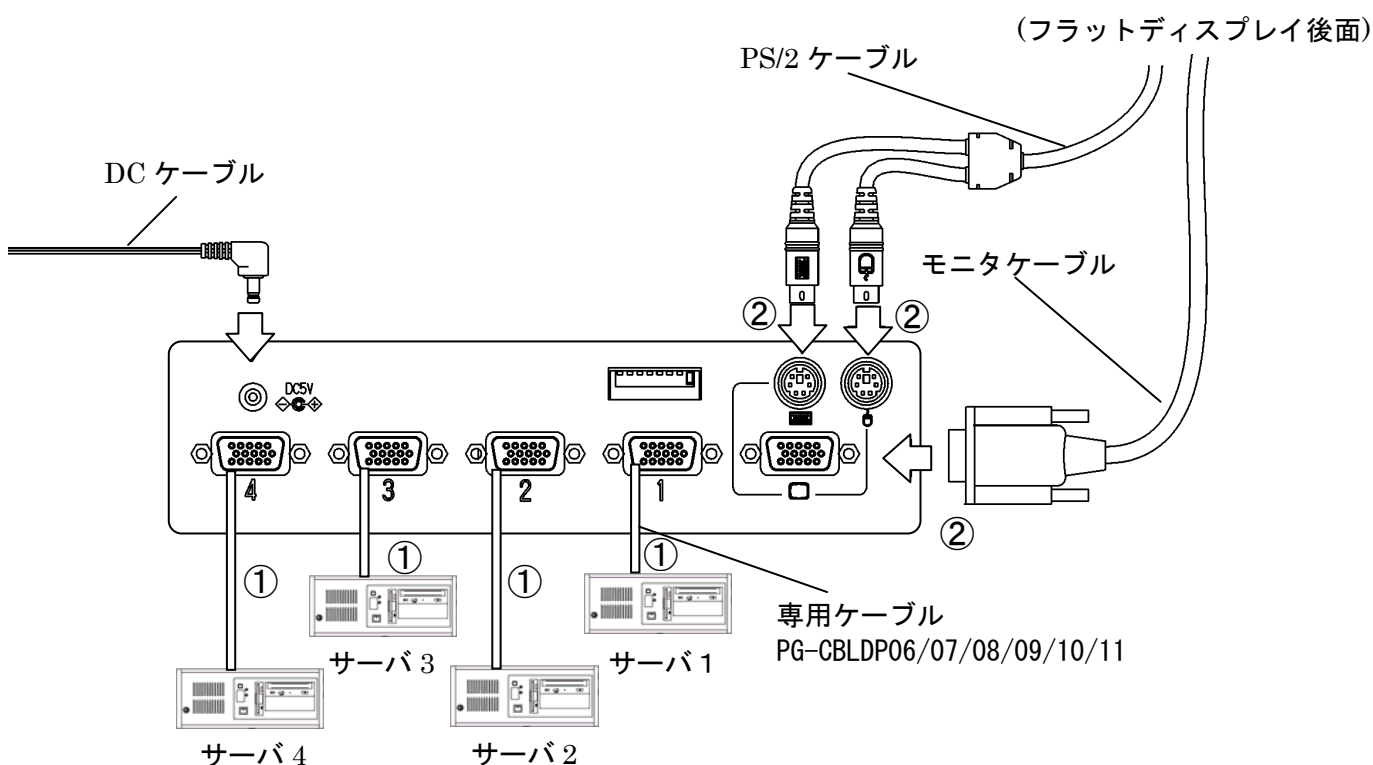


注意

- ・ポートの接続、取り外し時は、「ケーブルの接続と取り外し」の注意に準じてください。また、ポートが影響を受ける装置の電源を切っておこなってください。
- ・KVM スイッチの取扱説明書もあわせてよくお読みのうえ、正しくご使用ください。

ポート数のサーバが接続できます。

- ①サーバのキーボードポート (PS/2 または USB)、マウスポート (PS/2 または USB)、モニターポート (VGA) と KVM スイッチのポートを専用ケーブル (PG-CBLDP06/07/08/09/10/11) で接続します。
- ②本装置の PS/2 ケーブル (キーボード、マウス)、モニターケーブルをそれぞれ CONSOLE のキーボード、マウス、モニターポートに接続します。



KVM スイッチのケーブル接続図

操作



注意

- ・フラットディスプレイは、スライドレールがロックされるまでゆっくり手前に引き出してください。
- ・ロックされていない場合、もたれ掛かるとフラットディスプレイは動いてしまいます。
- ・スライドモジュールの引き出し、押し込み時やLCDの開閉時などを実施する際には、手を挟まないよう十分注意して実施してください。



注意

- ・フラットディスプレイを引き出しているときやモニタ部を開いていて使用している場合に、強い力を加えると、ラックが転倒するおそれがありますので注意してください。
- ・モニタ画面を強く押したり、硬いものでこすったり、磁石などを近づけないでください。破損の原因になります。



注意

- ・フラットディスプレイを引き出した状態では、装置の角などにぶつけると危険ですので十分注意して操作してください。
- ・フラットディスプレイを使用しない時やフラットディスプレイ以外の操作〔サーバや周辺機器など〕を実施する必要な場合には、フラットディスプレイをラック内に格納することを推奨します。

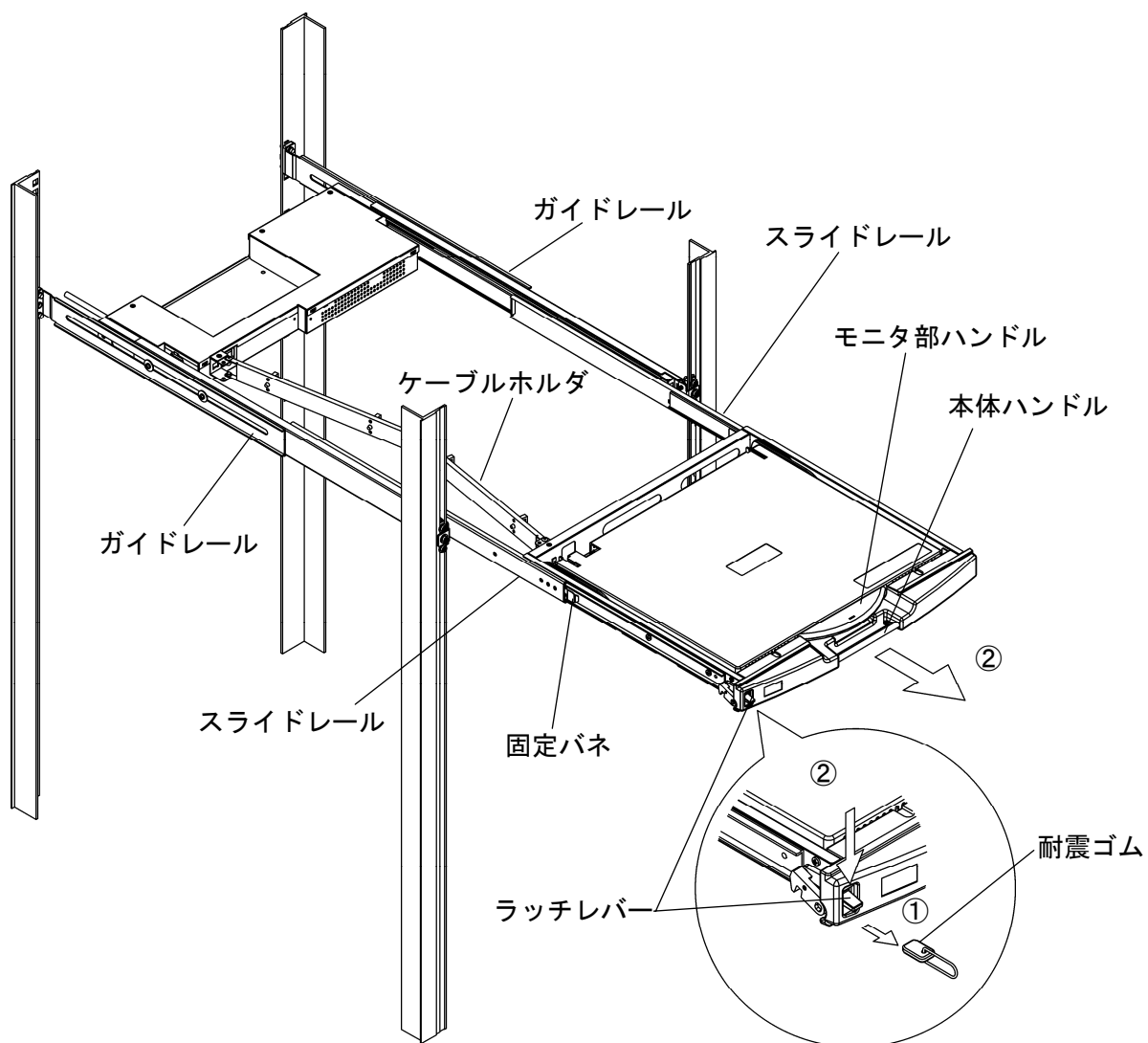
フラットディスプレイの操作

- ① 耐震ゴムを引き抜いていない場合は、引き抜いてください。
- ② フラットディスプレイ前面左側のラッチレバーを押し下げ、本体ハンドルを持ってフラットディスプレイを引き出します。フラットディスプレイ本体は、カチッと音がするまで引き出してください。

《17ページに続く》

Point

フラットディスプレイが、前面部2本の取り付けネジでラックにきちんと固定されていることを確認してから、引き出してください。

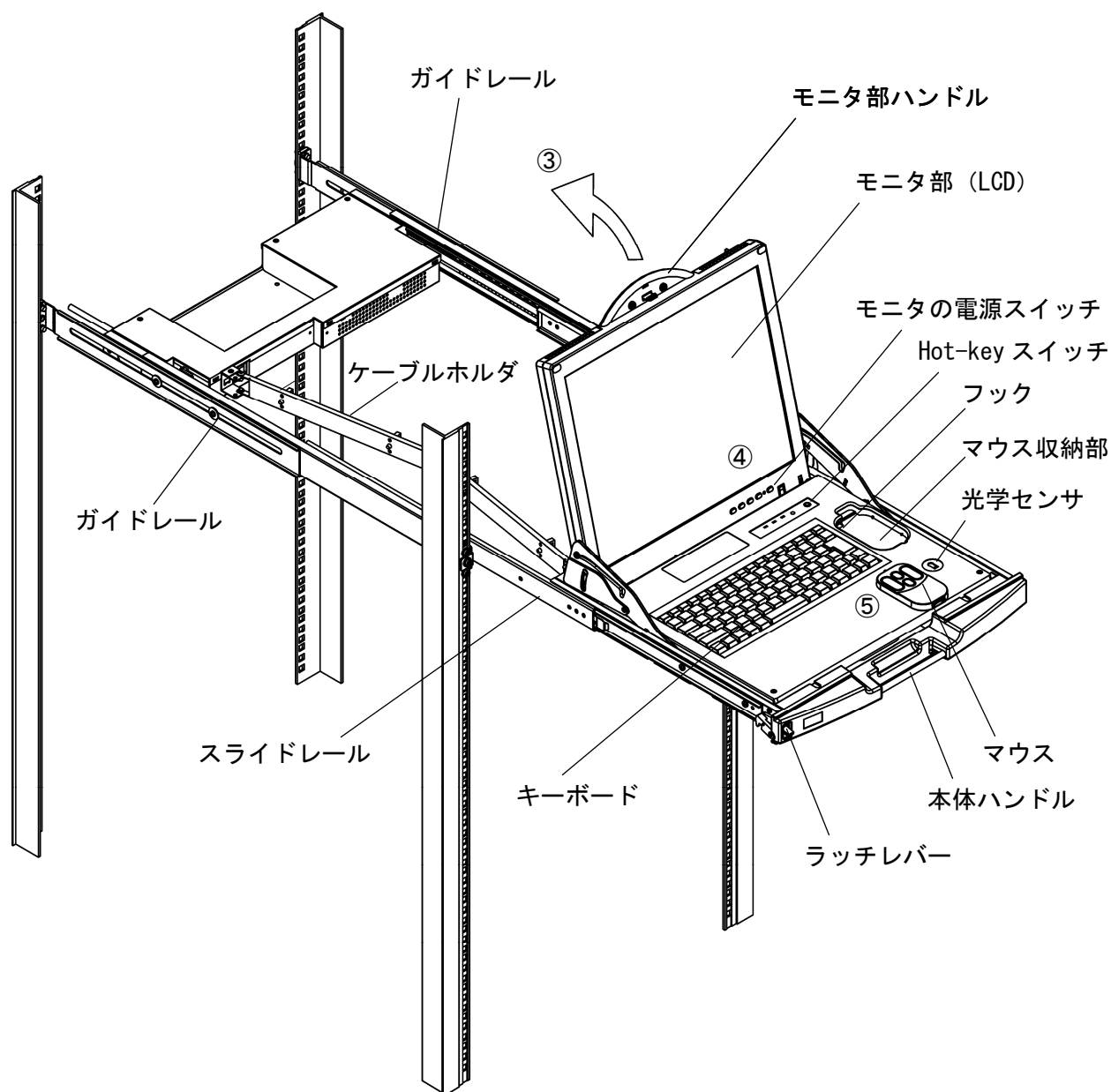


フラットディスプレイ本体引き出し図

- ③ モニタ部ハンドルを持ちモニタを上側に開きます。
- ④ 電源ボタンを押して、モニタの電源を入れます。
接続してあるサーバの電源を入れます。
- ⑤ マウス収納部からマウスの前方を少し上げて前側フックを外します。斜めのまま前方に引き抜き後側フックを外してマウスを取り出します。

Point

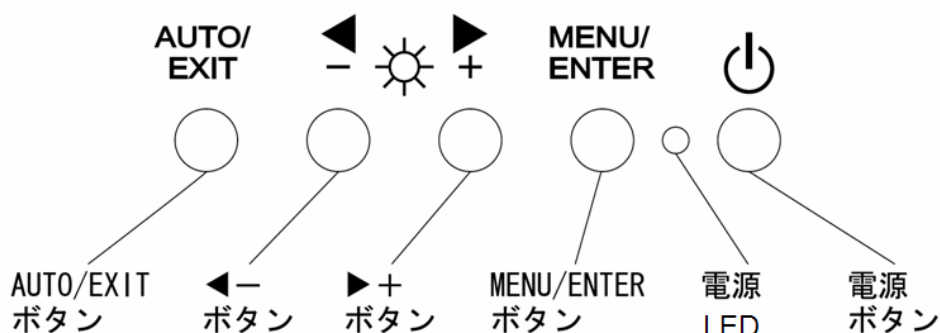
- ・ モニタ部は完全に引き起こしてください。
- ・ マウスは光学式センサ上で操作してください。光学センサから外れるとカーソルは動きません。



モニタ部開閉図

モニタの調整

モニタ部には、1つのLEDと5つのボタンがあり、右から順番に説明します。

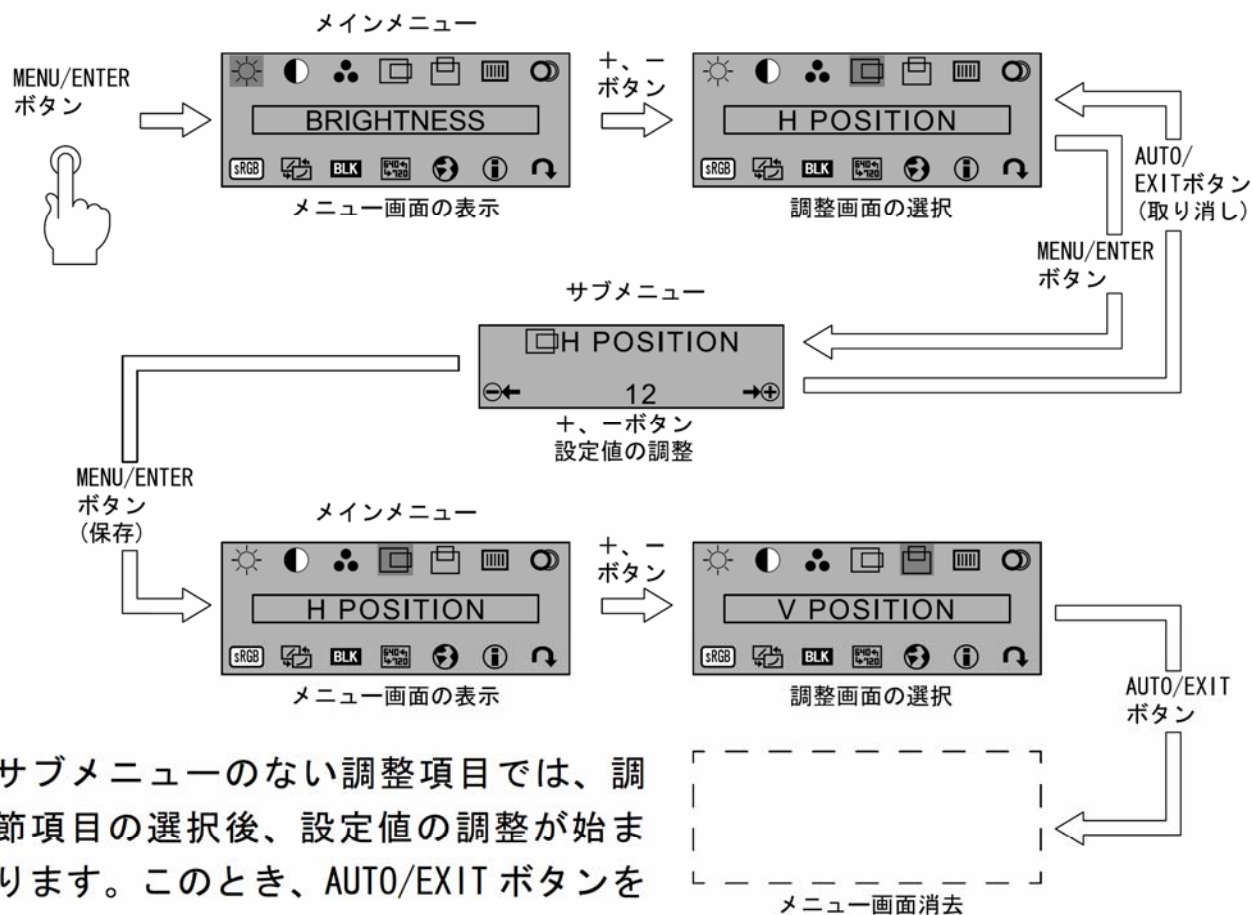


- | | | |
|----------------|---|---|
| 電源ボタン | : | モニタの電源を入れるときに押します。また、電源が入っているときに押すとモニタの電源が切れます。 |
| 電源 LED | : | モニタの電源が入っているときに青色に点灯し、省電力状態のときは橙色に点灯します。モニタの電源が切れていると消灯します。 |
| MENU/ENTER ボタン | : | メニュー画面の表示、調整項目の決定、設定値を保存する場合に押します。 |
| ▶ + ボタン | : | 右方を選択するときや値を増やす方向に変化させる場合に押します。 |
| ◀ - ボタン | : | 左方を選択するときや値を減らす方向に変化させる場合に押します。 |
| AUTO/EXIT ボタン | : | メニュー画面の消去、調節項目の取り消し、設定値の取り消し、自動調節する場合に押します。 |

Point

- ・ メニュー画面を表示させずに、▶、◀ ボタンを押すと画面の明るさ (BRIGHTNESS) を直接調整することができます。
 - ・ メニュー画面を表示させずに、AUTO/EXIT ボタンを押すと自動調整 (POSITION と FOCUS) を行います。
 - ・ 画面のノイズは設定メニューの FOCUS および CLOCK の調整で除去できます。
-















基本的な調整方法を下図に表します



サブメニューのない調整項目では、調節項目の選択後、設定値の調整が始まります。このとき、AUTO/EXIT ボタンを押すと、メニューに戻りますが、設定は保存されません。

ただし、メニュー画面を表示させずに、
▶+、◀-ボタンを押したときの画面の
明るさ（BRIGHTNESS）調整の場合は、設
定値を変更する毎に保存されます。

調整項目

記号	英語表示	調整内容
	BRIGHTNESS	画面全体の明るさを調整します。
	CONTRAST	画面全体の濃淡の強さ(コントラスト)を調整します。
	COLOR	画面の表示色を調整します。固定値の設定や赤 / 緑 / 青の色合いを個別に設定できます。
	H POSITION	表示位置を左右に調整します。
	V POSITION	表示位置を上下に調整します。
	CLOCK	帯状(縦)のノイズが発生する場合に調整します。
	FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
	SRGB	sRGB の ON/OFF の切り替えができます。
	PICTURE MODE	コントラストカーブの切り替えができます。中間調での表現を変えることができます。
	BLACK LEVEL	黒色のオフセット基準を任意に設定できます。
	TEXT MODE	DOS 画面表示時の解像度を設定できます。英語 DOS 時は、720 × 400 を選択してください。
	LANGUAGE	表示言語を変更します。 (英語、ドイツ語、イタリア語、フランス語、スペイン語)
	INFORMATION	現在表示されている解像度、垂直同期周波数及び各種調整項目(一部を除く)の設定値を表示します。
	RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 <ul style="list-style-type: none"> ・ READJUSTING 全項目に戻します。 ・ GEOMETRY 表示している解像度(モード)の画面位置、クロック及びフォーカスに戻します。 ・ COLOR ブライトネス、コントラスト、黒レベル、及びカラー調整に戻します。

解像度とリフレッシュレート

解像度	水平周波数 (KHz)	垂直周波数 (Hz)	モード
640 × 400	31.5	70	VGA 400 Line
640 × 480	31.5	60	VGA Standard
	37.5	75	VESA
	37.9	73	
720 × 400	31.5	70	
800 × 600	35.2	56	
	37.9	60	
	46.9	75	
	48.1	72	
1024 × 768	48.4	60	
	56.5	70	
	60.0	75	
1280 × 1024	64.0	60 (推奨)	
	80.0	75	

LCD の表示に関する注意事項

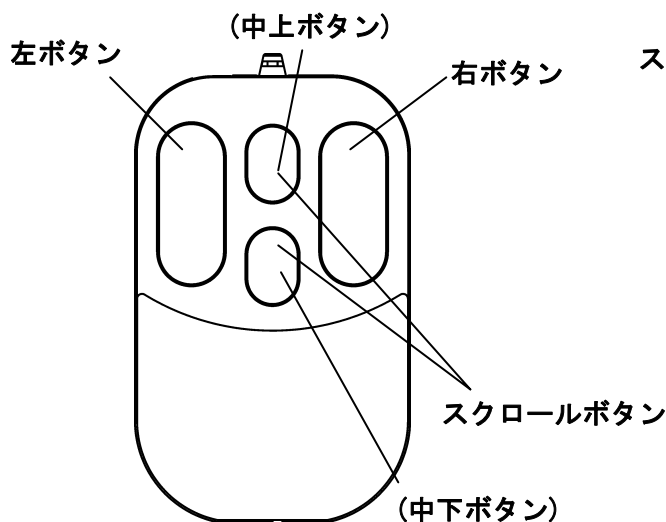
- ・電源投入直後やOS 起動時または終了時には画面の表示位置がずれたり、画面が点滅したり、乱れたりすることがありますが故障ではありませんのでそのままご使用ください。
- ・1280 × 1024 以外の解像度もすべてフルスクリーン表示となります。
- ・1280 × 1024 以外の解像度では、文字の輪郭がはっきり見えなかったり、細かなストライプの太さが揃わなかったりすることがあります。これは、擬似的に拡大表示（フルスクリーン表示）しているためであり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。
- ・画面上の一部に点灯しないドットや常時点灯するドットが存在する場合がありますが、液晶ディスプレイの特性であり、故障ではありませんのでそのままご使用ください。
- ・Coserverにご使用の場合
 - ・CoServerの解像度を1280×1024に設定した場合、Ftvirtual server Desktop画面をフルスクリーンで表示することはできません。
 - ・CoServerの画面の表示色を最大(32ビット)に設定した場合、Ftvirtual Server Desktop起動時に推奨色の16ビットでないため、設定の変更を確認するダイアログが表示されます。解像度が1280×1024に設定されている場合に、このダイアログで画面の表示色を変更しますと、解像度が1024×768に変更される場合がございます。解像度を変更された場合は再度、解像度を1280×1024に戻して、ご使用ください。

マウスとボタンの操作

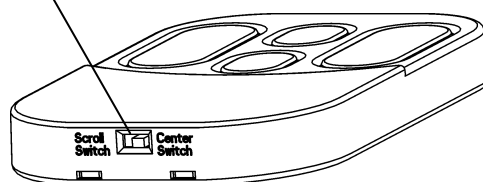


注意

- ・マウスは長時間使用すると手や指の健康に影響をおよぼすことがあります。ときどき休憩をとってご使用ください。
- ・故障の原因になりますので、次のことはおこなわないでください。
 - ぶつかけたり、落とさない。
 - 重いものをのせたりしない。
 - 濡れた手で操作したり、水などにつけない。
 - 分解、改造などしない。
 - 車の中や直射日光のあたる場所に置かない。
 - ほこりの多い場所や高温多湿な場所で使わない。
- ・光学センサは、サーバ本体の電源が投入されているときに点灯します。強い光を発する場合がありますので、光学センサはのぞきこまないでください。



スクロール/センター切替 SW



Scroll Switch Center Switch
スクロール選択時

Scroll Switch Center Switch
センター選択時

※ 側が SW 位置を示す

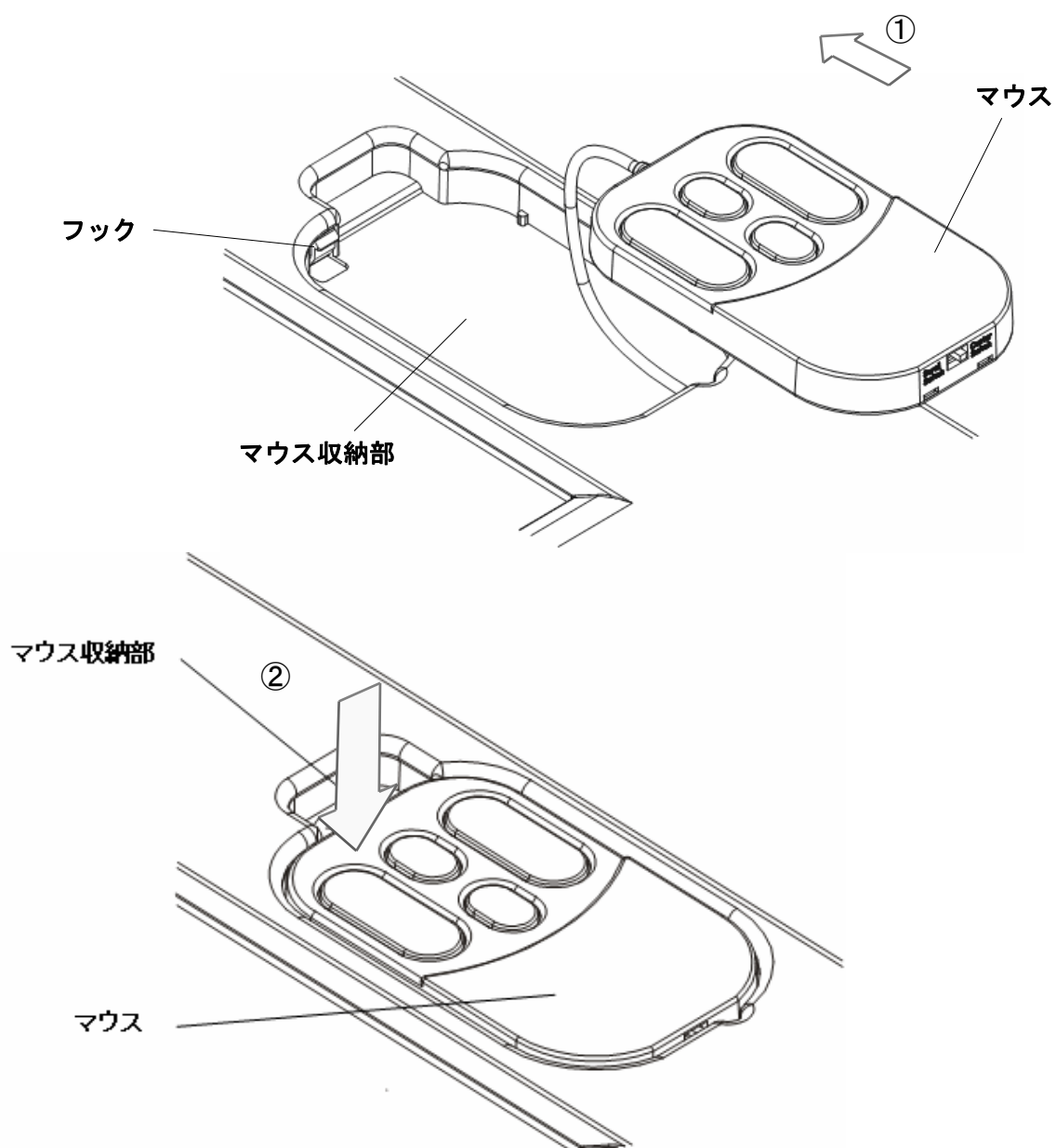
- 本体
動かすとモニタ画面のポインタ（矢印）が移動します。
- 左ボタン
通常、指定や選択する場合に押します。
- 右ボタン
ショートカットなどを表示する副ボタンです。
- スクロール/センター切替 SW
スクロール選択時：「中上ボタン」、「中下ボタン」をスクロールボタンとして使用できます。
センター選択時：マウスの「中上ボタン」が「中ボタン」として使用できます。
センター選択時には、「中下ボタン」は機能しません。

マウスの収納方法

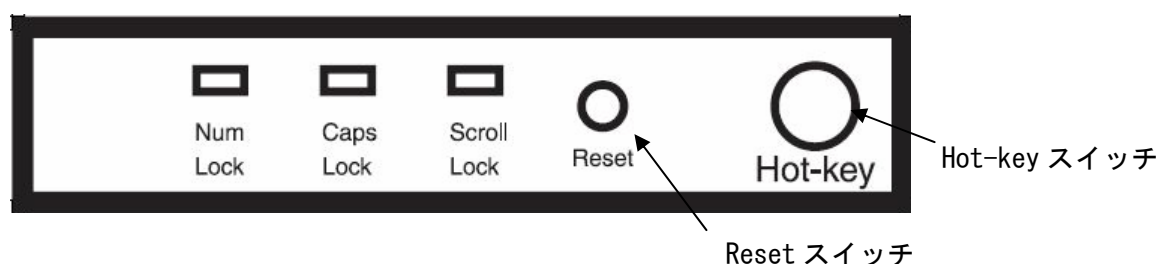


- ・ LCD を閉じる前に必ずマウスをマウス収納部に収納してください。
 - ・ ケーブルは必ずマウスの下になるように収納してください。
 - ・ ケーブルを強く引っ張らないでください。
-

- ① ケーブルがマウスの下なるようにして、マウス収納部に移動します。
- ② マウスボタンが上になるようにして、マウス先端部を押しマウス収納部のフックをかけます。








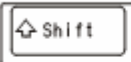








LED 表示および Reset スイッチ



- Num Lock LED : Num Lock有効(LED On) / 無効(LED OFF)
Caps Lock LED : Caps Lock有効(LED On) / 無効(LED OFF)
Scroll Lock LED : Scroll Lock有効(LED On) / 無効(LED OFF)
Resetスイッチ : 通常は使用しません。KVMスイッチが接続されている場合にはKVMスイッチもResetがかかります。ただし、2段目(スレーブ)のKVMスイッチにはResetはかかりません。キーボード、マウスが操作できなくなったときに使用します。金属製のピン等の先で軽く押してください。

Hot-Key スイッチの操作

KVMスイッチを接続した場合は、ホットキーモードになります。

サーバ選択	OSD選択	 Hot-key	+	 PgUp	+	 Enter
		 +  + 				
	 +  × 2回連続	 PgDn				
ダイレクト選択	 × 2回連続	+	 (数字KEY)			
サーバ名常時表示モード ON/OFF	 +  +  × 2回連続					

キーボードの操作

Fn キーとの組み合わせにより、省スペースながらフルキーボードと同等の操作が可能です。

KVM スイッチをご使用の場合について

異なるタイプの CRT コントローラを備える複数のサーバで使用すると、設定が同じでも画像の位置が違ふことがあります。一般に解像度とリフレッシュレート（垂直周波数）はすべてのサーバで同じであるため、これらの設定に対応するパラメータの 1 種類のセットだけが、画面に対して記憶されます。画面上でずれた画像を修正すると、別のサーバでの表示が影響を受けることがあります。ずれた表示を修正するには、次の設定を変更してください。

- ① 画像が正しく表示されないサーバのリフレッシュレートを別の値に設定します。
- ② 最適な画面表示を選択し、その設定を保存します。

一般に解像度に対して複数のリフレッシュレートを設定できるため、画面に対して複数のオプションを利用できます。

フラットディスプレイの格納

モニタとキーボードが必要ない場合は、フラットディスプレイをラックに格納することができます。

Point

- ・フラットディスプレイ本体の出し入れはゆっくりとおこなってください。

-
- ① マウスを収納します。[23 ページ参照]

モニタの電源ボタンを押して、モニタの電源を切ります。

- ② モニタ部を閉じます。簡易ロックが掛かったことを確認します。

- ③ スライドレール両側の固定バネを押し、フラットディスプレイ本体を少し押し込み、ロックを解除します。この時スライドレールが一緒に動いた場合、ハンドルを持ちレールを完全に引き出した後、再度ロック解除操作を繰り返してください。

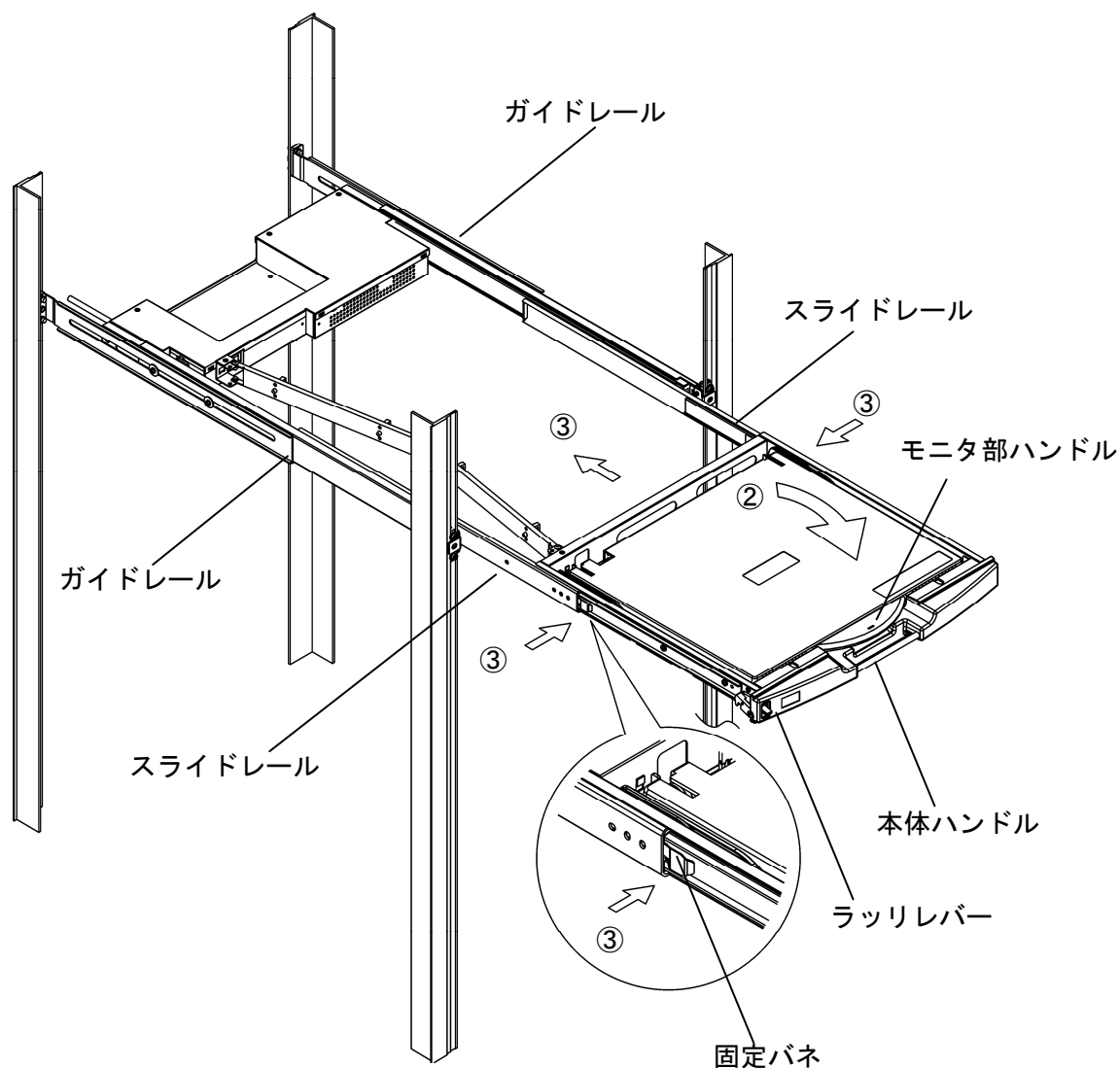
ロックが解除されたら、フラットディスプレイ本体をラックに押し込みます。ラッチレバーが掛かったことを確かめます。



- ・フラットディスプレイを格納する場合、ガイドレールやスライドレール、フラットディスプレイ本体に指や手を挟まないように注意してください。スライドレールを持ったままフラットディスプレイを押し込むと指を挟むことがあります。
- ・ラッチレバーが掛かっていないとラックを動かしたときに、フラットディスプレイが出てくる場合がありますので、格納する際にはラッチレバーが掛かるまで完全に押し込んでください。
- ・マウスが収納されていないとモニタ部はきちんと閉じることができません。

Point

- ・ モニタをご使用にならないときは、省電力のため電源スイッチ（モニタ電源）を切ることを推奨します。本製品の電源スイッチを切っても、サーバ電源が入っていることで、キーボード、マウスへは電源が供給されます。
- ・ フラットディスプレイのモニタを完全に閉じることで自動的にモニタ電源が切れます。



フラットディスプレイ本体押し込み図

トラブルシューティング

本製品のご使用に際して何か困ったことが起きた場合は、以下の内容をお調べください。

1. 画面が表示されない

症状	考えられる原因	対処方法
電源ランプが消灯している。	電源ケーブルが正しく接続されていない。または奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを正しく奥まで確実に接続してください。
	電源が入っていない	電源ボタンを押してください。
電源ランプがオレンジ色に点灯している。またはMENU/ENTERボタンを押すと「POWER SAVING」のメッセージが表示される。	サーバがスタンバイ状態になっている。	キーボードのどれかのキーを押すかマウスを動かしてください。スタンバイ状態が解除されます。
	モニターケーブルがサーバ本体に、正しく接続されていない。	サーバ本体にモニターケーブルを正しく接続してください。
電源ランプが点灯するが、画面が表示されない。場合によっては以下のメッセージも表示される。 「OUT OF RANGE H:****kHz V: H:****kHz SEE USER' S MANUAL」 「NO SYNC SIGNAL SEE USER' S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度とリフレッシュレートに変更してください。
	サーバ本体より後に本製品の電源を入れた。	サーバ本体と同時またはそれ以前に本製品の電源を入れてください。
	ディスプレイケーブルが、サーバ本体に正しく接続されていない。	サーバ本体にディスプレイケーブルを正しく接続してください。

2. 画面調節ができない。

症状	考えられる原因	対処方法
AUTO/EXITボタンによる自動調整ができず、以下のメッセージが表示される。 「AUTO ADJUSTMENT FAILED SEE USE' S MANUAL」	画面全体が極端に暗い色に設定された状態で自動調整が行われた。	表示画面全体を出来るだけ白画面にして、AUTO/EXITボタンを押して自動調整を行ってください。
「UNSUPPORTED MODE SEE USE' S MANUAL」	標準表示仕様以外の解像度とリフレッシュレートになっている。	メニュー画面のインフォメーションにより、現在表示されている解像度とリフレッシュレートを確認し、サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。

3. 画面がおかしい

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	31ページを参照願います。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面の調節が適切でない。	31ページを参照願います。
表示がはみ出る。 または、画面いっぱいに表示されない。	画面位置の調節が適切でない。	31ページを参照願います。
	標準表示仕様以外の解像度（モード）になっている。	サーバ本体の設定を標準表示仕様の解像度（モード）に変更してください。
画面が消えることがある。	電源ケーブルが奥まで確実に接続されていない。	電源ケーブルを奥まで確実に接続してください。
文字の太さが場所によって異なる。	フォーカス、クロックの調整が適切でない。	31ページを参照願います。
	1280X1024より低い解像度になっている。	デジタル処理で擬似的に拡大処理しているので文字の太さが異なる場合があります。 最適な画面するには「画面のプロパティ」で解像度を1280X1024に設定してください。

4. オプティカルリフレクトマウス、キーボードが動かない。

症状	考えられる原因	対処方法
キーボードが動かない	キーボード/マウスケーブルが正しく接続されていない。	キーボード／マウスケーブルを正しく接続してください。
	キーボードが認識していない	Reset SWを押してください。それでも認識しない場合、12ページにしたがって、再度、ケーブル接続を行ってください。
マウスが動かない (カーソル、スイッチ)	マウスが認識していない。	
	キーボード/マウスケーブルが正しく接続されていない。	キーボード／マウスケーブルを正しく接続してください。

フラットディスプレイのお手入れ



モニタの電源を切り、電源ソケットから電源プラグを抜いてください。

研磨剤を含む清掃剤やベンジン、シンナーなどの有機溶剤、消毒用アルコールは使用しないでください。

水や洗剤、スプレー式のクリーナーを直接かけないでください。液が内部に入ると、誤動作や破損の原因になります。

フラットディスプレイ本体とモニタの筐体を乾いた布で拭いてください。汚れがひどいときには、水に浸したやわらかい布をよく絞って拭きとってください。

ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

キーボードとポインティングデバイスを清掃するには、殺菌した布を使用してください。

モニタ画面は、ガーゼなどの乾いたやわらかい布で軽く拭いてください。ほこりはやわらかいブラシなどで払ってください。

リサイクルについて

■本製品の廃棄について

本製品（付属品を含む）を廃棄する場合は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規制を受けます。

- ・液晶ディスプレイ内の蛍光管には水銀が含まれております。

- ・法人・企業のお客様へ

本製品の廃棄については、弊社ホームページ「IT 製品の処分・リサイクル」（<http://jp.fujitsu.com/about/csr/eco/products/recycle/recycleindex.html>）をご覧ください。

- ・個人のお客様へ

本製品を廃棄する場合は、必ず弊社専用受付窓口「富士通パソコンリサイクル受付センター」をご利用ください。

詳しくは、「富士通パソコンリサイクル受付センター」のホームページ（<http://azby.fmworld.net/recycle/>）をご覧ください。

設定時における LCD 表示の注意事項

システム設置時、あるいは接続するサーバ変更時に接続するサーバの種類により、表示位置などが多少ずれることがあります。その場合は、画面全体をできるだけ白画面にしてから、AUTO/EXIT ボタンを押して画面の自動調整をおこなってください。

- * 自動調整後、下記症状がでる場合は下記「対処方法」により調整作業をお願いします。
- * 下記症状は LCD パネルの不良ではありません。

症状	考えられる原因	対処方法
格子状の表示画面がちらつく。	フォーカスが合っていない。	<u>FOCUS</u> を調整してください。
縦帯状の縞模様が見えることがある。	画面サイズ（クロック）の調整が適切でない。	<u>CLOCK</u> の調整をしてください。 その後 <u>FOCUS</u> も調整してください。
文字の輪郭がはっきり見えない箇所がある。	フォーカスが合っていない。	<u>FOCUS</u> を調整してください。
黒画面にサワサワノイズが見える。	黒レベルが合っていない。	<u>BLACK LEVEL</u> を調整してください。

- * メニュー画面表示方法：MENU/ENTER ボタンを押して対処メニュー（OSD）を選択してください。

【対処メニューの機能内容】

メニュー画面の表示	機能
CLOCK	帯状（縦）のノイズが発生する場合に調整します。
FOCUS	文字のにじみや画面の水平方向のノイズが発生する場合に調整します。
BLACK LEVEL	画面にサワサワとしたノイズが発生する場合に調整します。
RECALL	ご購入時の設定値に戻します。 READJUSTING = 全項目に戻します。 GEOMETRY = 表示している解像度の画面位置、クロック、フォーカスに戻します。 COLOR = ブライツネス、コントラスト、黒レベル、カラー調整に戻します。

技術仕様

型名 : PG-R2DP2

●電気仕様

定格電圧範囲 : 100V AC
周波数 : 50／60Hz
定格電流 : 100V/0.8A
消費電力 : 35W(80VA)/126kJ/h

●外形寸法

ガイドレール : (W) × (D) × (H)
30mm × 610～855mm × 44mm
(無段階で調節可能)

本体部 : (W) × (D) × (H)
(1)スライドレール縮小時 486mm × 680mm × 43mm
(2)スライドレール伸張時 486mm × 1210mm × 43mm
(3)(2)+LCD 引き起こし時 486mm × 1210mm × 370mm

●質量 12.5kg

●環境条件

温度 : 使用時 10 — 35 ° C
(使用時の結露は避けてください。)
サーバの環境条件に準ずる

●モニタ

パネルタイプ : 17 インチ、TFT カラー液晶
解像度 : 最大水平1280 (ドット) × 垂直1024 (ライン)
ドットピッチ : 0.297 × 0.297mm
リフレッシュレート : 最大 75Hz
表示色 : 最大 1,677万色
輝度 : 250cd /m²
コネクタ : ミニD-SUB 15 ピン (アナログRGB)
消費電力 : 最大34W 以下
スタンバイ時 3.0W 以下
バックライトの電源OFF 時 14.0W 以下

●キーボード

配列： 日本語
キー数： 87 キー
コネクタ： ミニDIN 6 ピン (PS /2)
または
USB シリーズ A プラグ

●オプティカルリフレクトマウス

方式： オプティカル方式
SW数： 4 ボタン
コネクタ： ミニDIN 6 ピン (PS /2)
または
USB シリーズ A プラグ

memo

memo

フラットディスプレイ (PG-R2DP2)

取扱説明書

発行日 2007年6月
発行責任者 富士通株式会社

Printed in Japan

-
- 本書の内容は、改善のため事前連絡なしに変更することがあります。
 - 本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権およびその他の権利の侵害については、当社はその責を負いません。
 - 無断転載を禁じます。
 - 落丁、乱丁本はお取替えいたします。
-

FUJITSU



古紙配合率100%再生紙を使用しています。



いつも地球を見守っている

NC14010-L538 01 070610